

鹿屋 吾平 輝北 串良



KANOYA
AIRA
KIHOKU
KUSHIRA

大会4日目、肝属チームは、かのやイベント広場前に永田宏一郎選手が1位でゴール。



大会5日目、浜田小に勤務する肝属チームの石塚正太選手を、同校の児童が横断幕を持って応援しました。



県下一周市郡対抗駅伝競走大会

肝属チームが4年ぶりに日間優勝

2月18日から22日までの5日間、県内に春の訪れを告げる第53回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催され、県内の53区間、593.1kmを舞台に12チームが熱いレースを繰り広げました。

大会4日目、地元肝属チームはゴールとなるかのやイベント広場に第1位でゴールして4年ぶりに日間優勝。総合成績でも4位となり4年ぶりのAクラス入りを果たしました。

また、今回、輝北地区は曾於チームで参加。輝北町の選手の活躍もあり総合3位となりました。

輝北地区は曾於チームで参加。輝北町の上谷田卓選手（尚志館高校2年）は、大会3日目第10区と5日目第8区で両日とも区間4位と健闘しました。

鹿屋

KANOYA 五穀豊じょうと無病息災を祈願



2月22日、田崎町の七狩長田貫神社（田崎神社）で、五穀豊じょうと無病息災を祈願する「お田植え祭り」が行われました。

この祭りは、田植えの準備から稲穂の収穫までの様子を表現する同神社に古くから伝わる伝統行事。田んぼに見立てた境内では、黒い烏帽子と真っ赤な甚兵衛羽織を身にまとった7人の男衆が、田んぼを耕すように木製の牛んこを引いて、縦横にかけ回ったり、肥料に見立てた砂をまいたほか、最後に行われた稲穂の収穫を喜ぶ踊りには、見物客も加わり、今年1年の豊作と健康を一緒に祈願しました。

串良

KUSHIRA まんはっせん 万八千神社で二月踊り



2月26日、串良町下小原の万八千神社で二月踊りが行われました。

これは、五穀豊じょうと無病息災を願う同神社に伝わる伝統行事。境内で、太郎・次郎が木彫りの牛とモガで田を耕し、子供たちが「シバうち」して田をならし、神主が種をまくという神事後、下小原北・南・大坪の3町内会の小中学生・青年約65名が5組に分かれ棒踊りを奉納しました。その後、浴衣姿に色とりどりのたすきをかけた踊り子たちは、3町内会の各戸を元氣な掛け声で踊りながら回り、最後は、下小原駅の跡にある水神様に踊りを奉納しました。